業務部速報



No. 79 発行 25.11.14

JR東労組 業務部

慢性的な要員不足が深刻化する中で奮闘している組合員・社員の努力に報い、 「理8号」モチベーションの向上を求める年末手当に関する緊急再申し入れ

中央本部に寄せられた

団体交渉を行う!(その3)

要員不足が深刻化している職場実態を訴える!

勤務発表前から休日出勤をお願いされ、年休は入らず、月初めから超勤が 30 時間を超えている。こんな状 況で企画業務なんてできるわけがない/統括センター化から融合と連携が始まり、勤務作成、勤務操配が非常に困 難になった。要員不足も相まって「欠員」で回し、空いた穴を企画業務の時間を当てて対応している/新たな業務を 担う人に見習いをつけるように求めても、人がいないために十分な見習いがつけられない。不安をかかえて一本に なるが、フォローする要員も余裕もない/副長が一般社員の勤務も行いながら仕事をしている。一般社員も日々の 業務でいっぱいいっぱいで、企画業務なんてやっている場合ではない/育休や海外留学、実践管理者等で職場を 離れる社員が何人いるのか把握していると思えない【乗務員】毎月休日出勤は当たり前、年休は入らず時期変更権 ばかり。何をもって要員が足りていると言うのか/社長の言うように要員が足りてるのであればこんなにも休日出勤 が発生するはずがない。労働密度が高くなっているせいで日々、疲労が蓄積されてる。その影響もあり体調不良者 が増えている/要員が足りていないのは会社がしっかりと現場を把握していないから。たまに会社幹部が職場に来 たりするがただ挨拶しに来てるだけで職場の実態を掴もうとしていない/誰がどうみても要員不足であり、過去最高 の働き度だ。社員に還元しなければこの先 JR は人材倒産もあり得る/あまりにも余裕がないと思う。こんなことして いたらいつか列車が運休すると思う。お客さまの安心を作りたいなら、要員不足を解消し安定的な職場運営ができる 環境をつくるべき/毎月勤務作成時に「休日出勤のお願い」が teams に投稿される。以前はこんな事は稀にしかな かった。11 月は約140行路もあり明らかに異常である/ただでさえ毎月2回の休日出勤が当たり前になり、それを1 年間続けたら24日、実質1年間で13カ月分働かされていることになる「検修関係」人員が十分にいるならなぜ残業 や休勤が大量に発生しているのか説明して欲しい/職場では管理者ですらもう要員が足りないと言っている状況/ 適切な箇所に適切な要員、人材が配置されていない。頭数だけ居ればいいと言う感じで、交番検査を全て一人立ち していない若手社員が作業責任者になったり、それをカバーしなければならなかったり、安全や技術力低下に繋がっ ている/安全が阻害される未来しか見えない。三現主義で役員自ら足を運んで現実を見るべき/大きな事故(死傷 者)が起きそうで怖い/臨時修繕の作業が組めない。簡単な改修工事は副長や副所長まで現場に出て作業してい る。それでも年間の計画作業はやり残しが出そうな状況。実害が出ている/休む暇もないのでヒューマンエラーを誘 発する可能性がある【工務】業務の簡素化というが業務は減らずに要員だけが減っている/現場長ですら人がいな いと言っている。これまで3人でやっていた業務を2人で回し、プロジェクトだ、ワーキングだとやることが増えている /定例会見での社長の発言は、現場第一線で働く社員から見れば怒りしかない。限られた要員のなかで伐採対応 や緊急点検に追われ、工事監督や検査計画などの本来業務が超勤で対応している現実を知るべき/今年6月の保 線組織再編以降、さらに超勤が増えている。月平均 10 時間程度だったのが 25~30 時間と 3 倍近くに増えている。 後輩で10月末時点で年間超勤が320時間を超えている。職場では目の前の業務をこなす事で手一杯で満足に教育 も出来ない現状。このままでは技術継承も出来ず安全を確保していくことが困難になってしまう。明らかに人が足り ない【かんり】いままで担っていない担務の見習いをさせているが、じっくり養成する余裕もなく、それに伴う技術力の 低下が目に見えている/乗務員職場では朝から晩まで要員探しで終わってしまう管理者がいるくらいだ/総体の数 で言うのではなく、現場を正確に把握、認識して言うべき【きかく】年休取得を休日労働で補っている。これが健全な 職場というのか。仕事が減っている実感はない/経営陣は現場のいいところしかみていないのではないか。管理者 と一部の社員と意見交換したという実績づくりだけ【指令】慢性的な超過勤務は明らかに要員が不足している。職場 が無理をして成り立っている【医療】希望した休みが取得できない職場の現実を見るべき【エルダー】3 万 4 千人とは 机上だけの計算で、実際の状況を見ていないのではないか。社員も人間なので体調を崩して業務に就けない時もあ る。ロボットではない

要員不足のなかでの奮闘を経営陣は認識し、報いる回答をすべきだ!